



マンスリーたかつ

第75号

神奈川県立高津支援学校

令和6年5月27日

## スマイルの芽 「夢」



新年度がスタートし早2カ月が経とうとしています。

新年度を迎え数日経ったある日の中学部の教室のできごとです。

私が教室に入ると 1名の生徒から「夢は何?」と聞かれました。

言葉に詰まってしまった私は何も答えることができず、とっさに

「〇〇さんは?」と聞き返すと、その生徒は、笑顔で元気よく即答して

くれました。では私も、ということでもう一度考えてみましたが、その場では

答えることができませんでした。いくつになっても夢を持ち続けたい、

夢は叶うか叶わないかではなく…そう思った瞬間でした。

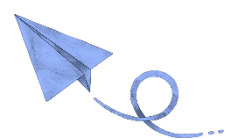


以前、ある芸能人が夢についての質問に答える際に「夢はどんどん変わっていくもの。それは諦めたのではなく自分が成長したということ。同じ夢を追いかけるのもかっこいいし、それと同じくらい、新しい夢にシフトするのもまたかっこいい」と語っていたことも思い出しました。いつでも誰に聞かれても堂々と夢を語る事ができる自分でありたい、生徒から学ぶことができました。

奇しくも先日知人が出展する「神奈川己書(おのれしよ)作品展」に行き、「夢」といういくつかの作品に出会い、その場においても改めて「夢」を抱くことへの憧れを密かに強くすることができました。

私の「夢」は… ここでは秘密にしておきます。

副校長 埜崎 真弓

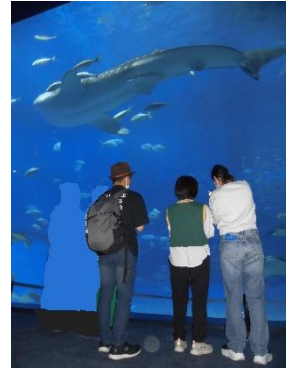


## 『分教室 修学旅行(沖縄)』 4月24日(水)～4月26日(金)



生田東・川崎北分教室3年生合同で、沖縄へ修学旅行に行きました。那覇空港に向かう機内は他校の修学旅行生も含めほぼ満席。飛行機が徐々に高度を上げて雲の上に達すると、一面に広がる雲のじゅうたんに感嘆の声が上がりました。

沖縄では貸切バスとゆいレールで移動し、美ら海水族館ではサンゴの飼育展示や大きな水槽で悠々と泳ぐジンベイザメやマンタなどに思わず目が釘付け、なかなか見ることのできない海の生き物たちを間近で見ることができました。



万座ビーチでのマリリアクティビティ(ドラゴンボート、グラスボート)では、それぞれ普段できない貴重な体験をし、琉球村ではシーサーの絵付けや村内見学をしながら沖縄の文化・芸能・自然を体感しました。国際通りではグループごとに事前学習で調べたお目当ての場所へ。ここで土産を買った人も多かったです。そして食事でも、沖縄そば、タコライス、ゴーヤチャンプルーなどの沖縄料理を堪能しました(くわっちーさびたん)。



最終日は両分教室ごとに行動し、那覇空港で集合。生田東分教室は首里城で沖縄の歴史を学び、川崎北分教室は対馬丸記念館で平和について学びました。

一日目に案内してくれたバスガイドさんが言っていました。沖縄言葉の「なんくるないさ」は、人任せの「どうにかなるさ」ではなく、自分自身が「努力していれば(がんばっていれば)、どうにかなる」という意味なんだそうです。

あっという間の3日間。みんなが思い思いの沖縄を感じ、それぞれの思い出ができたことでしょう。普段はなかなか会うことのない両分教室の生徒と一緒に過ごした3日間は貴重な機会でした。今回の修学旅行の体験や思い出とともに、これからの学生生活も「ちむどんどん(ドキドキ・ワクワク・胸が高鳴る)」していきましょう。



川崎北分教室長 齋藤 哲也

## 『相談支援』



### たかつひまわり文庫をご利用ください



相談支援係では、PTA 予算により購入した書籍で、たかつひまわり文庫を開設しております。今年度は、寄贈本を含め 53 冊の本が揃っています! 本の種類や貸出方法につきましては、配付プリント「たかつひまわり文庫のご案内」をご参照ください。ホームページにも掲載しております。ご興味のある本がみつかりましたら、ぜひ、ご利用ください!



相談支援係 奥 玲子

## 『食育』



「人生 100 年時代」といわれるようになりました。生涯にわたって、心身ともに健康で生き生きと暮らしていくために、あらゆる世代の人が「食べる力」を身につける必要があります。特に、子どもたちに対しては、健全な心と体を培い、豊かな人間性を育てていく基礎となる「食育」を、家庭・学校・地域が連携し、推進していくことが重要です。

本校では、児童生徒の実態に合わせて給食の配膳下膳を行っています。普段見る機会が少ない、厨房や食堂を見る機会が増えるなど、食への関心を深めることができる場面になっています。よりよい食生活を目指して、今後でもできることから取り込んでいきます。

### 食育で育てたい「食べる力」



栄養教諭 根本 佳奈

## 『進路』



6 月には本校高等部、生田東分教室、川崎北分教室それぞれで前期現場実習が始まります。

2 年生までに取り組んできた職業の授業や校内実習、企業や福祉での現場実習の経験を踏まえて、絞り込まれた進路希望。それをもとに組まれた企業や福祉事業所での実習のスタートです。

現場実習はいわゆる就職活動とも言える、進路を決めるうえでとても大切な実習です。

それぞれが選んだ実習先で、達成感を感じたり、挫折を感じたり、成功体験、失敗体験… 1～2 週間の実習の中でいろいろな物語が展開されます。同時に実習先からは貴重な評価をいただきます。そして、その経験と実習先の評価をもとに、本人や保護者、担任も一緒に進路について具体的に考えることになります。

つまり 3 年生にとってその先の進路を決める試験のようなものです。生徒の皆が全力で実習に臨めるよう、日ごろの体調管理、持ち物や通勤経路の事前チェックなど、ご家庭でも本人を支えていただければと思います。また、日誌の記載も忘れずをお願いします。

学校でも、担任と進路担当が一丸となって準備万端整えていきたいと思っています。

3 年生の皆さん、頑張っていってらっしゃい！

進路担当 松井 英明